

# 見える化プログラム分析に基づく 評価指標の抽出と分析

里山整備副産物を利用した 海洋資源保全に関する  
コンソーシアムの構築に向けて

分析案220310

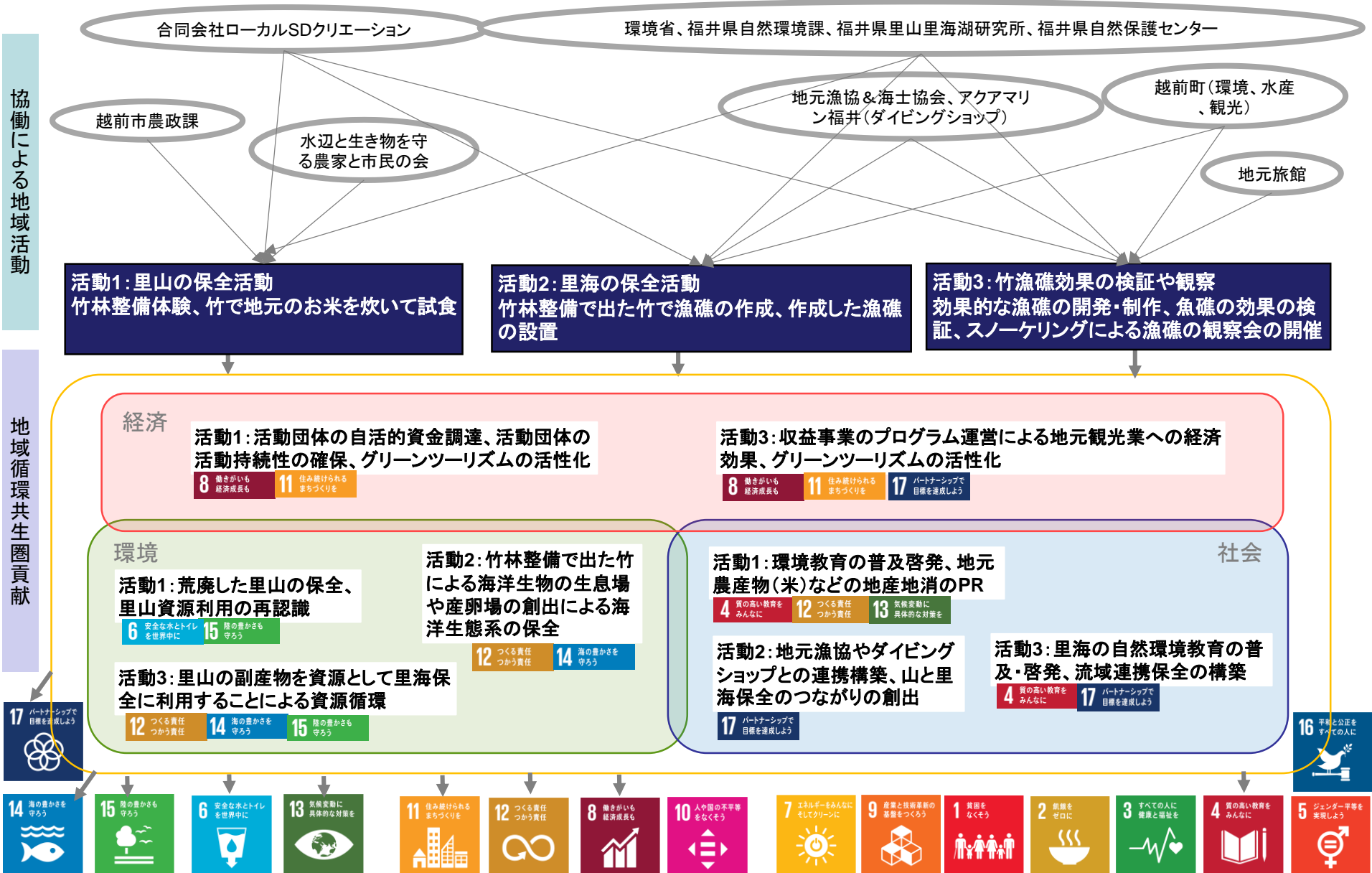
合同会社ローカルSDクリエーション

## 鍵となった出来事、きっかけ(活動推進のわけ)

近年課題となっている里山や里海の荒廃を防ぐため、山間部の里山整備により搬出された木材を中心とした副産物を漁礁として活用することで、里山と里海をつなげた広域にわたる流域保全の構築を行う事を目的とし、里山と里海の活動を一連の自然環境体験プログラム商品として収益化することで観光産業の活性化を目指す。

活動No.	活動 1	活動 2	活動 3
名称	里山の保全活動	里海の保全活動	竹漁礁効果の検証や観察
対象課題	モウソウチク林の拡大により里山の荒廃	里海の水産資源の生息場の減少	竹の漁礁としての効果の検証 体験プログラムの開発
活動内容	竹林整備体験、竹で地元のお米を炊いて試食	竹林整備で出た竹で漁礁の作成、作成した漁礁の設置	効果的な漁礁の開発・制作、魚礁の効果の検証、スノーケリングによる漁礁の観察会の開催
予想活動成果	荒廃した竹林の環境向上、自然環境教育の普及・啓発、竹の利用価値の再認識、収益プログラムとしての運用	海洋生物の生息場や産卵床の創出、自然環境教育の普及・啓発、竹の利用価値の再認識	里山資源のワイスユース、水産資源の増加、流域連携保全の構築、収益事業としての運用、観光産業の活性化

近年課題となっている里山や里海の荒廃を防ぐため、山間部の里山整備により搬出された木材を中心とした副産物を漁礁として活用することで、里山と里海をつなげた広域にわたる流域保全の構築を行う事を目的とし、里山と里海の活動を一連の自然環境体験プログラム商品として収益化することで観光産業の活性化を目指す。



# 活動別評価指標の検討

活動 1

活動名		里山の保全活動		
活動課題		モウソウチク林の拡大により里山の荒廃		
活動内容		竹林整備体験、竹で地元のお米を炊いて試食		
活動成果予想		荒廃した竹林の環境向上、自然環境教育の普及・啓発、竹の利用価値の再認識、収益プログラムとしての運用		
地域循環共生圏貢献		【環境への貢献】	【社会への貢献】	【経済への貢献】
		荒廃した里山の保全 里山資源利用の再認識	環境教育の普及啓発 地元農産物（米）などの地産地消のPR	活動団体の自立的資金調達 活動団体の活動持続性の確保 グリーンツーリズムの活性化
評価指標 1	指標案	整備竹林面積（ha）	竹林整備、お米試食体験者数（人）	竹林整備、お米試食体験売上（円）
評価指標 2	指標案		イベント消費地元産食品量（kg）	
採用指標（案）		整備竹林面積（ha）		

活動 2

活動名		里海保全活動		
活動課題		里海の水産資源の生息場の減少		
活動内容		竹林整備で出た竹で漁礁の作成、作成した漁礁の設置		
活動成果予想		海洋生物の生息場や産卵床の創出、自然環境教育の普及・啓発、竹の利用価値の再認識		
地域循環共生圏貢献		【環境への貢献】	【社会への貢献】	【経済への貢献】
		竹林整備で出た竹による海洋生物の生息場や産卵場の創出による海洋生態系の保全	地元漁協やダイビングショップとの連携構築 里山と里海保全のつながりの創出	
評価指標 1	指標案	漁礁の設置数（箇所）		
採用指標（案）		漁礁の設置数（箇所）		

活動 3

活動名		竹漁礁効果の検証や観察		
活動課題		竹の漁礁としての効果の検証 体験プログラムの開発		
活動内容		効果的な漁礁の開発・制作、魚礁の効果の検証、スノーケリングによる漁礁の観察会の開催		
活動成果予想		里山資源のワイズユース、水産資源の増加、流域連携保全の構築、収益事業としての運用、観光産業の活性化		
地域循環共生圏貢献		【環境への貢献】	【社会への貢献】	【経済への貢献】
		里山の副産物を資源として里海保全に利用することによる資源循環	里海の自然環境教育の普及・啓発 流域連携保全の構築	縁)
評価指標 1	指標案		観察会等の参加者数（人）	観察会等収益事業プログラム運用売上（円）
評価指標 2	指標案		連携団体数（団体）	
採用指標（案）			観察会等の参加者数（人）	観察会等収益事業プログラム運用売上（円）

# SDGs指標物語の作成：整備竹林面積（ha）活動1の指標

事例指標：整備竹林面積（ha）  
SDGs指標物語作成シートにて作成

活動1	里山の保全活動
貢献分野	環境
選定指標	整備竹林面積（ha）

指標名(単位)	整備竹林面積(ha)	SDGs指標物語	Local SDGs 指標の概説	整備竹林面積（ha）は「ゴール6すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する15陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する」の達成に寄与する地域活動を反映するLocal SDGs指標として選定した。整備竹林面積（ha）は地域の「水源機能や陸域生態系維持」への貢献を表す。
			SDGsへの関連性	整備竹林面積（ha）が増加すると、「土壌の含水率低下の緩和」という関連性から、【指標6.6.1水関連生態系範囲の経時変化】に影響があり、【ターゲット6.6山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。】の達成に貢献する。また、「雑木林への竹林侵入の抑制」という関連性から、【指標15.1.1土地全体に対する森林の割合】に影響があり、【ターゲット15.1森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。】の達成に貢献する。
			地域の取組との関連性	整備竹林面積（ha）のために『里山の保全活動』を行えば、『竹林の手入れ増加』という持続可能性に貢献するSD状況が発生し、『放置竹林の減少』の影響により『管理された里山の増加』につながる。一方、「マンパワーの増加」という持続可能性を阻害するunSD状況が発生する可能性が考えられ、「人員確保の困難性」の影響により「地域社会への人的負担」につながることで、「ゴール11包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する」に対する阻害要因となり得るため、対策が必要となる。

地域のSDGs取組	選定指標に対する地域の状況・活動・負荷等							選定指標と内容		SDGs体系				
	分野	SD状況	影響	好転内容	unSD状況	影響	悪化内容	阻害対象 ゴール・ ターゲット	分野	環境	項目	インデクス	ターゲット	ゴール
里山の保全活動	環境	竹林の手入れ増加	放置竹林の減少	管理された里山の増加	マンパワーの増加	人員確保の困難性	地域社会への人的負担	ゴール11包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する	指標名(単位)	整備竹林面積(ha)	項目	6.6.1 水関連生態系範囲の経時変化	6.6 山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。	6 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
									SDGsの何を示しているか	水源機能や陸域生態系維持	関連性	土壌の含水率低下の緩和		
											項目	15.1.1 土地全体に対する森林の割合	15.1 森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。	15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
											関連性	雑木林への竹林侵入の抑制		

# SDGs指標物語：活動1 整備竹林面積（ha）の指標の作成結果

活動1	里山の保全活動
貢献分野	環境
選定指標	整備竹林面積（ha）
Local SDGs指標の概説	整備竹林面積（ha）は「ゴール6すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する、15陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する」の達成に寄与する地域活動を反映するLocal SDGs指標として選定した。整備竹林面積（ha）は地域の「水源機能や陸域生態系維持」への貢献を表す。
SDGs への関連性	整備竹林面積（ha）が増加すると、「土壌の含水率低下の緩和」という関連性から、【指標6.6.1水関連生態系範囲の経時変化】に影響があり、【ターゲット6.6山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。】の達成に貢献する。また、「雑木林への竹林侵入の抑制」という関連性から、【指標15.1.1土地全体に対する森林の割合】に影響があり、【ターゲット15.1森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。】の達成に貢献する。
地域の取組との関連性	整備竹林面積（ha）のために『里山の保全活動』を行えば、『竹林の手入れ増加』という持続可能性に貢献するSD状況が発生し、『放置竹林の減少』の影響により『管理された里山の増加』につながる。一方、「マンパワーの増加」という持続可能性を阻害するunSD状況が発生する可能性が考えられ、「人員確保の困難性」の影響により「地域社会への人的負荷」につながることで、「ゴール11 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する」に対する阻害要因となり得るため、対策が必要となる。

# SDGs指標物語\*チャート：整備竹林面積（ha）

\*「ローカルSDGs取組のための基礎自治体指標データベースの構築」第24回日本環境共生学会学術大会論文集

